

ごじょう山

春号
Vol.59

法人理念：思いやり 基本方針：ひとりひとりに応じた医療と福祉で社会参加をサポートします。

退院後の社会参加、人生を見据えて

五条山病院では、法人理念「思いやり」、基本方針「ひとりひとりに応じた医療と福祉で社会参加をサポートします」のもと、急性期の入院治療から地域での社会生活、社会参加までをワンストップで切れ目なく支援を行えるよう『デイケアセンター』、『訪問看護ステーション』、『障害福祉サービス事業所』『相談支援事業所』などを併設しています。

『デイケアセンター』では、医療サービスのひとつとして、医師のほかに、看護師、作業療法士、精神保健福祉士らが協力して利用者さんに関わり、生活機能の回復から就労にいたるまで、幅広いリハビリテーションプログラムを提供しています。ハローワークと連携した就労支援の取り組みである「仕事リハビリテーション（※詳細は次ページをご覧ください）」は、厚生労働省のモデル事業として、地元奈良新聞においても大きく特集していただきました。

『訪問看護ステーション』では、看護師が患者さんのご自宅を訪問し、医療サービスをご自宅でも安心して継続して受けられるよう、専門的な観点から病状を把握したり、困りごとの相談などにのったりします。

『障害福祉サービス事業所』は、精神保健福祉士や生活相談員が通院で治療を続ける利用者さん一人ひとりの希望する生活に合わせて、生活介護、宿泊型・通所型自立訓練、短期入所などさまざまなサービスを提供できる体制を整えています。

『相談支援事業所』は、さまざまな社会資源を複合的に利用することが必要な方を対象に、サポート計画の立案、利用の調整、各種手続きの援助などを行い、患者さんや利用者さんの暮らしを幅広い側面から支えて行きます。

また、退院後、患者さんが地域での暮らしに馴染み、入院から通院へ切れ目なく必要な治療・支援を続けられるよう、入院中からデイケアセンターなどを体験利用してみたり、退院後にわるスタッフとの顔合わせを行うなど、退院前から心や体をゆっくり慣らしていくようなサポートも行っています。

また、長く入院されている患者さんで、退院はしたいけれど地域で生活して行くには不安があり、サポートを希望される方には、専門のスタッフ（相談支援専門員など）がお手伝いをする「地域移行・定着支援」なども適宜行っています。

五条山病院では、このような地域に根差した精神科医療や福祉に力を入れて取り組んでいます。



ディケアセンターより

連載（第1回） “仕事リハ”の取り組み

ディケアセンターでは、2016年6月から就労に特化した「仕事リハビリテーションコース（以下、仕事リハ）を開設し、精神障害や発達障害、心の健康問題を抱えている方を対象に「安心して長く働きたい」「障害をオープンにして働きたい」といった“希望”を支援しています。

医療機関が行う仕事リハとして、[以下の項目](#)に重点をおきプログラムを実施しています。

1. 症状の安定

2. ストレス対処

3. 仕事に必要なスキルを 身につけるトレーニング



仕事リハの目的と定着支援

仕事リハの目的（ゴール）は必ずしも就職することではなく、「就労に向けた活動を通して自身のリカバリーが進むこと」を目的として行っています。仕事リハに参加し、プログラムに取り組まれた方の中には、一般企業での障害者雇用や就労継続支援A型事業所で採用された方もおられます。

就労を継続することは、一般社会においても難しいと言われていますが、精神疾患などを抱えた方が就労を継続していくためには、本人の努力に加えて、周囲の方の協力が欠かせません。

そこで、2018年からは定着支援として、就職後1年間は仕事リハのスタッフが、就労を継続できるようご本人を支援する取り組みを行っています。

～定着支援の内容～

- ・本人から職場での人間関係や業務内容で困ったことなどの相談をお受けします。
- ・ディケアと職場との間で連絡を取り合い、情報を共有することで、必要な支援や改善方法を検討します。（場合によっては、職場を訪問し、実際の就労されている様子を見学して、本人や職場に助言を行います。）



今後も個別のニーズや状態に合わせて
より良い支援を目指していきたいと思います。

次回は、

「プログラムの詳細」
についてご紹介させて
いただきます。

サポートセンター夢より

連載（第1回）“宿泊型”的生活訓練とは…

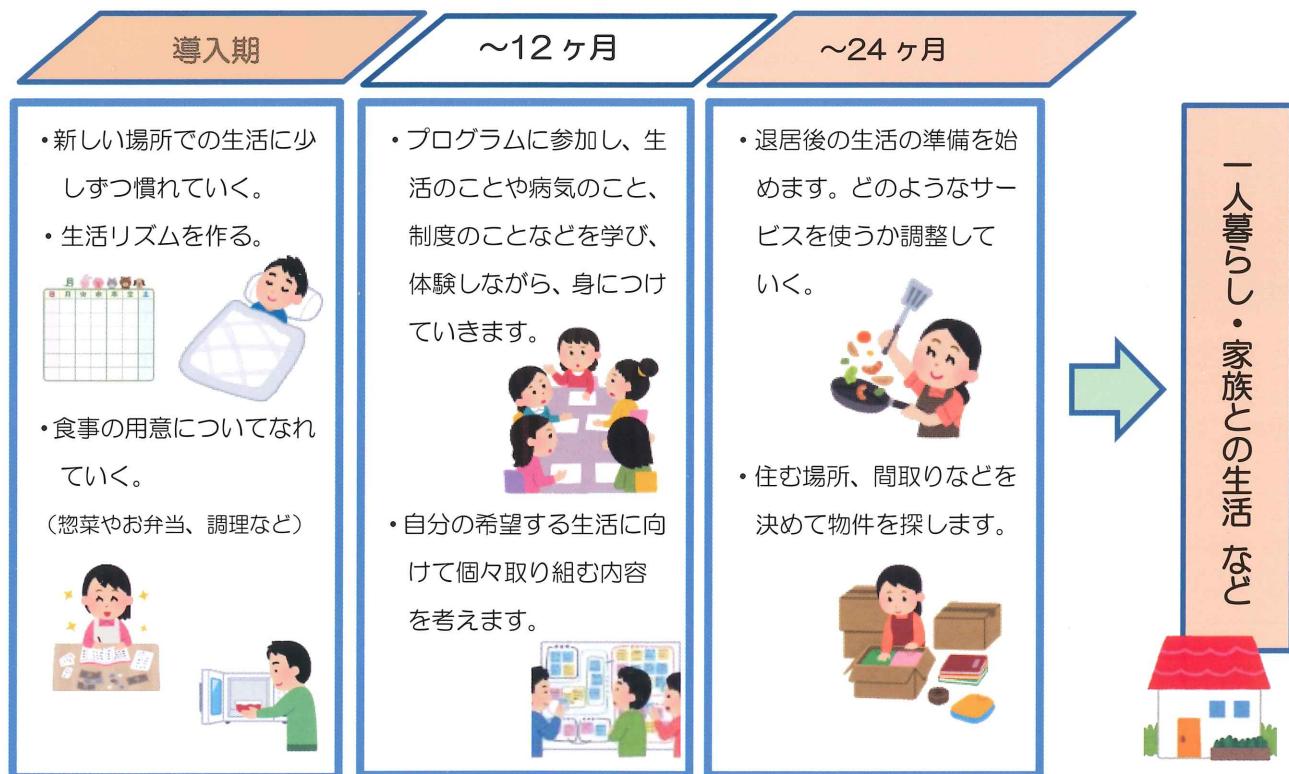
『宿泊型生活訓練』ってご存知ですか？初めて耳にされる方も多いのではないでしょうか？それもそのはず！現在、奈良県内で『宿泊型生活訓練』を行っているのは、サポートセンター夢のみだからです。

そこで、皆さんに『宿泊型生活訓練』について少しでも知っていただきため、今回から4回シリーズでご紹介していきたいと思っております。

● どのような取り組み？

- ・生活のしづらさのために、今すぐには自立して生活することが難しい方、身の回りのことを自分でできるようになりたい方に、居室やその他の設備を利用して、家事や金銭管理、余暇活動など生活に必要なことを身につけてもらえるようなサポートを行っています。
- ・一定期間（原則2年以内）、日中および宿泊による生活訓練を行い、自立した自分らしい生活を送ることができるようなサポートを行っています。

● 生活訓練の流れ（一例）



● どんな人が利用できるの？

- ・精神科に通院中の方
- ・サポートセンター夢のルールを守れる方
- ・市町村から支給決定を受けている方

次回は、
「プログラムの詳細」
について紹介させて
いただきます。

◆ 病床数

・精神科急性期治療病棟	51 床
・精神一般病棟	53 床
・精神療養病棟	270 床

◆ 関連施設

- ・サポートセンター「夢」
- ・相談支援事業所「夢」
- ・訪問看護ステーション「ののはな」

◆ 診療科目：精神科・心療内科・内科

◆ 診療時間：月曜日～土曜日（予約制）

午前 9:15～12:00

午後 12:45～15:00

◆ 受付時間：月曜日～土曜日

午前 9:00～16:30

(※診察は初診も含めすべて予約制です)

◆ 休診日：日曜日、祭日

年末年始（12月30日～1月3日）

5月1日、8月15日

【 診察担当医（令和2年4月1日より）】

	診察時間	月	火	水	木	金	土
1 診	9:15～12:00	北島	神谷	北林	中前	松本	田添
2 診	9:15～12:00	神谷	北林	北島	駒喜多	町澤	速水
3 診	9:15～12:00	中前	速水	町澤	武	田添	上村
	12:45～15:00	駒喜多	松本	藤田	藤田		榎原

=女性の医師 (※上記診察担当医は予定です。変更される場合があります。予めご了承下さい。)

- 当院では完全予約制を導入しています。診察は予約の順番にて行っておりますが、診察内容などで前後する場合があります。その際はご了承くださいますようお願い申し上げます。
- 初めて診察をご希望される方は、お電話にて「地域医療連携室」までお問い合わせください。

(受付時間：9:00～16:30)

お問い合わせ

☎ 0742-44-2411 (地域連携室) / 0742-44-1811 (代表)

【 アクセス 】

TEL 630-8044 奈良県奈良市六条西 4-6-3 TEL : 0742-44-1811 FAX : 0742-47-5766
ホームページ : <https://www.gojouyama.jp>

« 近鉄奈良駅前・JR奈良駅前より »

奈良交通バス「奈良県総合医療センター行」で「六条山」下車すぐ（所要時間 40分）

« 近鉄橿原線 西ノ京駅より »

奈良交通バス「奈良県総合医療センター行」で「六条山」下車すぐ（所要時間 8分）